

2024年度事業報告

I 事業の概要

1 事業の実施状況

一般社団法人日本交通協会が2024年度に実施した事業の概要は、以下のとおりである。

(1) 事業活動の実施状況

① JTA人材開発研修

将来の鉄道経営を担うことが期待される人材を対象に、多方面の知識の吸収、さまざまな経営課題への対応能力の向上及び鉄道業界人材ネットワーク形成を目的として、2012年度より「JTA人材開発研修」を実施している。2024年度で13回を迎え、以下により開催した。

・研修日程：前期 2024年9月 5日(木)～ 7日(土)

後期 2025年1月17日(金)～18日(土)

・受講者：前期 17法人 29名

後期 17法人 29名

※累計（第1回から第13回）受講者数は、323名である。

また、1月18日には、後期研修最終日に合わせ「第4回JTAグランドセミナー」を開催（第一部は研修修了生等による講演会、第二部は交流会）し、第1回から第13回研修修了生までを含む201名が集い、修了生相互の交流を深めることができた。

② 交通関係法人連絡協議会

「交通関係法人連絡協議会」の設置の経緯や「鉄道記念日の集い」の開催経緯等について情報共有を図り、関係法人が連絡、協力する体制の確認を行った。

また、(公財)交通協力会から「鉄道百五十年史事業」の進捗状況についての報告が行われた。

ア 協議会の開催

・第26回協議会の開催：2024年7月5日(金)

・第27回協議会の開催：2025年1月9日(木)

イ 第152回鉄道記念日の集いの開催

・開催日：2024年10月11日(金)

・場所：日本交通協会 大会議室

- ・内 容 : 式典・懇親会（立席）
- ・出席者 : 159名

ウ 新年互礼会の開催

- ・開催日 : 2025年1月9日（木）
- ・場 所 : 日本交通協会 大会議室
- ・内 容 : 式典・懇親会（立席）
- ・出席者 : 181名

③ 午餐会・講演会

今年度の午餐会・講演会は予定通り13回開催した。開催に当たっては、会員の会場（当協会大会議室）参加とZoomによるオンライン参加を同時併用しての開催とした。

また、8月に開催を予定していた西日本での講演会は台風10号の接近により2025年2月に延期し、会員の大阪会場（サード・プレイス 弥生）参加、当協会特別会議室でのオンライン視聴参加とZoomによるオンライン参加の同時併用により開催した。

- ・4月26日「今だから行くインド」

日印ビジネス支援協会株式会社

代表取締役/国際行政書士 平野 隆之 氏

- ・6月14日「印象派と経済—絵の価格、コレクター、画商—」

大原美術館第五代館長 三浦 篤 氏

- ・7月26日「異常気象の多発と気候変動—激甚化する気象災害は地球温暖化によるものなのか—」

一般財団法人日本気象協会監事 鈴木 靖 氏

- ・9月13日「総力安全保障時代の外交・防衛」

公共政策大学院客員教授 高見澤 将林 氏

- ・10月4日「JR 東日本のまちづくり ～TAKANAWA GATEWAY CITYを中心に～」

東日本旅客鉄道株式会社代表取締役社長

喜勢 陽一 氏

- ・10月25日「公共交通ネットワークの四国モデルを目指して」

四国旅客鉄道株式会社代表取締役会長

西牧 世博 氏

- ・11月15日「ドイツにおける地域公共交通運営の現状と課題」

一般財団法人交通経済研究所主任研究員

遠藤 俊太郎 氏

- ・12月6日「トランプ大統領誕生と石破政権の先行き」

インサイドライン編集長

歳川 隆雄 氏

- ・ 1 月 24 日「鉄道をめぐる昨今の課題」
国土交通省国土交通審議官 水嶋 智 氏
- ・ 2 月 14 日「2024 年の国際紛争を俯瞰する 欧州・中東・インド太平洋を『紐付け』してみれば・・・」
元海上自衛隊自衛艦隊司令官・海将 香田 洋二 氏
- ・ 2 月 28 日「ポストコロナの鉄道経営」
(西日本開催) 神戸大学名誉教授 正司 健一 氏
- ・ 3 月 7 日「第 2 次トランプ政権の発足と中国」
東京女子大学特別客員教授 高原 明生 氏
- ・ 3 月 28 日「共創による地域鉄道再活性化」
ひたちなか海浜鉄道株式会社
代表取締役社長 吉田 千秋 氏

④ 調査研究関係

ア 交通研究委員会

今年度の委員会は、予定通り 6 回開催し、そのうち 1 回は拡大開催とした。

- ・ 6 月 10 日 「新しい未来とネットワークを拓く年」
東日本旅客鉄道株式会社 常務取締役 伊藤 敦子 氏
- ・ 7 月 10 日「これからの交通政策～『交通崩壊』を避けるために～」
一般社団法人立飛総合研究所 理事 市川 嘉一 氏
- ・ 9 月 2 日「持続可能な鉄道システムの創造に向けた研究開発」
公益財団法人鉄道総合技術研究所 専務理事 芦谷 公稔 氏
- ・ 11 月 11 日「未来の高速鉄道～超電導リニア～」
(拡大) 東海旅客鉄道株式会社 副会長執行役員 宇野 護 氏
- ・ 2 月 3 日「インド高速鉄道プロジェクトの現状と課題」
日本コンサルタンツ株式会社
エグゼグティブアドバイザー 中井 雅彦 氏

- ・ 3月24日「相模鉄道の都心直通プロジェクト（相鉄グループの取り組み）」

相模鉄道株式会社 常務取締役営業部長

金田 有紀 氏

イ 情報セキュリティ対策研究会

2013年度から情報セキュリティの専門家に参加いただき、サイバーセキュリティの現状と取り組むべき対策に関する「情報セキュリティ対策研究会」を年2回当協会大会議室において開催している。

今年度は7月9日と11月26日に開催した。

ウ 海外交通政策資料研究会

欧州各国、米国、中国等の交通政策に関わる鉄道網整備計画や公共交通助成等について交通行政や交通事情に精通している専門家が国際的視野に立って実態調査に基づいた分析を行うことによって、交通事業の発展に資することを目的として調査研究事業を行っている。

これら調査研究の成果は「汎交通」に掲載するとともに、当協会ホームページにおいて公開している。今年度は当協会特別会議室において以下の日程で5回開催した。

- ・ 4月18日、6月20日、9月19日、12月5日、2月13日

⑤ 機関誌・蔵書等審査委員会

機関誌「汎交通」は、それぞれ時宜を得たテーマで特集を組むとともに、講演会、交通研究委員会等の講演内容、運輸・交通界の近況を掲載し、年4回発行している。配布先としては、当協会会員に加え、図書館や資料室、大学、行政機関及び社団法人・財団法人等、約110箇所配布している。「汎交通」については、引き続き充実した誌面での発行に取り組む。

なお、機関誌「汎交通」の発行に当たり、機関誌・蔵書等審査委員会を必要の都度開催をしているが、「汎交通」2024年度第Ⅱ号、第Ⅲ号、第Ⅳ号、2025年度第Ⅰ号の発行に向け、当協会特別会議室において以下の日程で4回開催した。

- ・ 5月14日、7月23日、10月23日、1月20日

⑥ 講演等委員会

各委員が持ち寄った2025年度の午餐会・講演会の講師候補者名簿を議題に当協会特別会議室において、12月18日に開催した。

⑦ 総務企画委員会

新国際ビル建替計画に関する取り組み、個人会員へのアンケートの実施等を議題に当協会特別会議室において、1月20日に開催した。

⑧ 親睦委員会

親睦活動の状況等を議題に当協会特別会議室において、12月10日に開催した。

⑨ 図書関係

図書活動は、(i)鉄道経営や交通研究に関する図書・資料の収集及び整備等 (ii) 現存図書・資料の保全・整備 (iii) 蔵書の整理・分類 (iv) 博物館への展示物の貸出(鉄道ポスター、書籍、絵画) など、交通関係の文化活動支援について日々実施している。

今年度も昨年度に引き続き蔵書の確認・整理に尽力した。

⑩ 助成金・分担金等

主な助成金・分担金等の提供は以下のとおりである。

- ・日本交通協会主催「JRスポーツ賞(功労賞)」に対する賞金
・・・・・・・・・・20万円
- ・日本交通学会主催「日本交通学会賞」に対する助成金
・・・・・・・・・・20万円
- ・「鉄道の日」実行委員会主催「鉄道の日」にかかる分担金
・・・・・・・・・・45万円

⑪ その他

ア 映写会

- ・開催日：10月17日(木)
- ・場 所：日本交通協会大会議室
- ・上 映：長 編「ALWAYS 続・三丁目の夕日」
短 編「NHK プロジェクトX 青函トンネル・24年の大工事」

イ 親睦関係

- ・囲碁部 : 例会、指導碁例会を毎月各1回ずつ開催し、9月に秋季大会を開催、3月に春季大会を開催
- ・旅行部 : 5月に宇都宮ライトレール・大谷資料館視察日帰り旅行を催行、11月に1泊2日旅行(敦賀、福井方面)を催行、2月に山梨リニア実験線の視察を催行
- ・競馬文化研究会：9月及び2月に例会を開催

(2) 新国際ビル建て替えへの準備

当ビルの建て替えに備え、協会としての方針を検討するため、三菱地所(株)と勉強会を行うとともに協議を重ねた。

なお、協会方針の検討にあたっては、個人会員を対象に将来の協会の場所や必要諸室等に関してアンケート調査を実施し、結果を方針検討に活用した。その他、建て替え準備資金を2013年度から各年度の収支状況に応じて積み立てを行っているが、今年度は、3千万円の積み立てを行い、現在約2億3千万円の積立金となった。

2 総会、理事会等に関する事項

(1) 定時総会

2024年5月29日（水）、14時から第118回定時総会を開催した。予定されていた議案は、全て承認された。

本総会の出席状況は、会場出席者68名、議決権行使書提出者278名、委任状提出者279名で、総出席者625名（定足数463名）であった。

場 所 日本交通協会大会議室

議 題

・決議事項

第1号議案 2023年度計算書類承認の件

第2号議案 役員選任の件

・報告事項

1 2023年度事業報告について

2 公益目的支出計画実施報告書の概要について

・その他

2024年度事業計画について

(2) 理事会

① 2024年5月10日（金）開催

場 所 日本交通協会大会議室

議 題

・決議事項

第1号議案 第118回定時総会開催承認の件

第2号後案 2023年度事業報告等承認の件

第3号議案 2023年度計算書類等承認の件

第4号議案 役員選任の件

第5号議案 顧問委嘱同意の件

第6号議案 （一社）日本交通協会嘱託職員就業規則改正案承認
の件

第7号議案 （一社）日本交通協会経理規程改正案承認の件

第8号議案 新規加入会員承認の件

- ・報告事項

- 1 2024年度事業計画
- 2 その他

② 2024年10月11日（金）開催

場 所 日本交通協会大会議室

議 題

- ・決議事項

第1号議案 新規加入会員承認の件

第2号後案 嘱託委嘱職員及びパートタイマーに関する就業規則案承認の件

- ・報告事項

- 1 2024年度上期事業報告
- 2 その他

(3) 顧問会議：2024年11月5日（火）

Ⅱ 会員の状況

機関誌「汎交通」及び講演会の充実を図りつつ、囲碁部、旅行部等の活動を支援するなど協会の魅力を高める施策を行った。特に個人会員については、J R各社幹部やJ T A研修修了者の若手会員獲得や法人会員についてもきめ細かい加入懇話を図ってきた。

会員向けサービスの強化としては、これまで会員専用サイトにおいて講演録、交通研究委員会の記録など多くの貴重な資料の整備を進めている。

また、ホームページの充実、会員サービスのレベルアップ、特に地方会員へのサービス向上、更には協会活動の情報発信を通じての新規会員獲得のために非常に重要であることから、暗号化認証を取得しセキュリティ強化を図るとともにホームページへのアクセス状況を解析できる仕組みを構築した。会員からの意見を聴きつつ、更なる充実を図っていく。

- ・会員数(2025年3月31日現在)

個 人：762名（対前年同期比 60名増）

法 人：224法人（対前年同期比 1法人増）

- ・年度末平均年齢(年度末の個人会員)

69.1歳（前年度末：70.0歳）

Ⅲ 役員等に関する事項

- ・代表理事（会長）・・・・・・・・ 1名
- ・業務執行理事（副会長）・・・・ 1名
- ・業務執行理事（理事長）・・・・ 1名
- ・理事・・・・・・・・・・・・・・ 33名
- ・監事・・・・・・・・・・・・・・ 3名